

---

第 375 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2018 年 4 月 20 日(金) 17 時 30 分~19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階研究所 セミナー室

演 者: 塚崎 雅之 氏

東京大学大学院 医学系研究科免疫学

日本学術振興会特別研究員 (PD)

タイトル: 骨免疫連関による口腔細菌感染制御

免疫系の過剰な活性化に伴う骨破壊は、関節リウマチや歯周病、癌の骨転移など、様々な炎症性骨疾患の病態において重要な役割を果たす。自己免疫疾患である関節リウマチの骨破壊機序を探索する中で、免疫系の司令塔である T 細胞と、骨吸収の実行役である破骨細胞との相互作用が解析され、「骨免疫学」という学問体系が生まれた。骨免疫学の進展は、関節リウマチにおける骨破壊メカニズムの解明や、治療薬の開発、その作用機序の理解に大きく貢献してきた。しかしながら、同じく代表的な炎症性骨疾患であり、最も罹患率の高い感染症の一つである歯周病の病態に関しては、未だ不明な点が多く残されている。

我々は、関節リウマチにおいて悪玉の免疫細胞と考えられてきた骨破壊性 T 細胞 (Th17 細胞及び exFoxp3Th17 細胞) が、口腔細菌依存的に歯周炎組織に集積し、抗菌免疫を惹起し口腔細菌の排除に寄与すると同時に、破骨細胞による歯の支持骨吸収を誘導し感染源である歯の脱落を促すことで、感染及び炎症を終息させる「諸刃の剣」として機能することを明らかにした。本研究で得られた知見により、炎症性骨破壊は単なる炎症の副次的効果ではなく、口腔細菌感染に対する生体防御機構としての役割を持つ可能性が示唆された。

*Matsumoto Dental University  
Graduate School of Oral Medicine*

1780 Gobara, Hirooka, Shiojiri,  
Nagano 399-0781, Japan

略 歴

2013年3月 昭和大学歯学部 卒業

2013年4月～2014年3月 昭和大学歯科病院 臨床研修医

2014年4月 東京大学大学院 医学系研究科 博士課程 入学

2015年4月～2018年3月 日本学術振興会特別研究員（DC1）

2018年3月 東京大学大学院 医学系研究科 博士課程 修了 医学博士

2018年3月 東京大学リーディング大学院

「ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム  
（GPLLI）」修了

2018年4月～ 日本学術振興会特別研究員（PD）

担当：硬組織疾患制御再建学講座  
宇田川 信之